様式第３号（第１３条関係）

会議録

<table>
<tr><td>会議の名称</td><td colspan="2">令和７年度 第４回 図書館協議会</td></tr>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="2">令和８年２月２４日（火）午前１０時から１２時まで</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td colspan="2">朝霞市立図書館本館　視聴覚室</td></tr>
<tr><td>出席者及び欠席者の職・氏名</td><td colspan="2">出席者　委員６名
有永克司会長、大野良雄委員、小石川知治委員、岡田一成委員、佐藤成美委員、黒川滋委員
事務局６名
奥山生涯学習部長、増田図書館長、齊藤館長補佐、五十嵐専門員兼北朝霞分館長、柴沼図書館サービス係長、早川庶務係長
欠席者　委員１名
石川敬史委員</td></tr>
<tr><td>議題</td><td colspan="2">議　　題
（１）報告事項
ア　令和７年度中間利用状況（４月～１２月末）について
イ　令和７年度中間事業報告（４月～１２月末）について
（２）協議事項
ア　令和８年度事業計画（案）について
イ　第４次朝霞市立図書館サービス基本計画･子ども読書活動推進計画（案）について
（３）その他</td></tr>
<tr><td>会議資料</td><td colspan="2">・令和７年度 第３回 図書館協議会　次第
・資料１　令和７年度　中間利用状況（４月～１２月）
・資料２　令和７年度　中間事業報告（４月～１２月）
・資料３　令和８年度　図書館事業計画（案）
･第４次朝霞市立図書館サービス基本計画･子ども読書活動推進計画（案）
・第４次朝霞市立図書館サービス基本計画・子ども読書活動推進計画資料編</td></tr>
<tr><td rowspan="6">会議録の作成方針</td><td colspan="2">□電磁的記録から文書に書き起こした全文記録</td></tr>
<tr><td colspan="2">■電磁的記録から文書に書き起こした要点記録</td></tr>
<tr><td colspan="2">□要点記録</td></tr>
<tr><td colspan="2">□電磁的記録での保管（保存年限　　　年）</td></tr>
<tr><td>電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間</td><td>■会議録の確認後消去
□会議録の確認後　か月</td></tr>
<tr><td colspan="2">会議録の確認方法
出席委員による確認</td></tr>
<tr><td>傍聴者の数</td><td colspan="2">０名</td></tr>
<tr><td>その他の必要事項</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）
【会長、副会長選出】 　協議会委員改選後、初回の会議のため、互選により有永委員が会長に就任、会長推薦により大野委員が副会長に就任 【議事】 〇早川庶務係長 　規則により、会長に議長をお願いします。 〇有永会長 　議題（１）報告事項ア　令和７年度中間利用状況（４月～１２月末）について、事務局より説明をお願いします。 〇柴沼図書館サービス係長 　それでは、報告事項１点目の　「令和７年度中間利用状況（４月～１２月末）について」ご報告いたします。資料１をご覧ください。 　「令和７年度　中間利用状況」表の１つ目「貸出人数」をご覧ください。ＷＥＢを含め、図書館本館が１２０，６７３人、分館が４５，０５１人、公民館は５館合わせて２０，２２４人、合計１８５，９４８人、前年度比１００．３％、４６５人の増となっております。 　次に「貸出点数」は、ＷＥＢを含め、図書館本館が３４３，９５７点、分館が１５１，０４６点、公民館が計５９，６５９点、合計５５４，６６２点、前年度比９７．２％、１６，１８８点の減となっております。 　次に、裏面をご覧ください。「登録者数」は、図書館本館が１，７９４人、分館が５６２人、公民館が計１４１人、合計２，４９７人、前年度比９９．２％、２０人の減となっております。 　次の「予約点数」は、ＷＥＢを含め、図書館本館が１１６，５３９点、分館が６，２７４点、公民館が計１，６００点、合計１２４，４１３点で、前年度比９８．２％、２，２９３点の減となっております。 　次のページに移り、「開館日」をご覧ください。図書館本館が２４４日、分館が２４６日、公民館が計９７１日、合計１，４６１日で、前年度比９８．６％、２１日の減となっております。 　次の「実来館者数」は、図書館本館のみとなりますが、令和７年度は、２０４，２９８人、前年比１０４．２％、８，１８５人の増となっております。 　次の「電子図書館サービス」の利用状況ですが、貸出回数３，２８１回、前年度比９４．３％、閲覧回数９，９９３回、前年度比８４．５％となっております。 　令和７年度につきましては、貸出点数、予約点数など図書館の利用が減少している点につきましては、娯楽の多様化、メディアの多様化などが要因の一つではないかと推測しております。以上が、令和７年度の１２月末までの利用状況でございます。 〇有永会長 　事務局から説明がありましたが、何かご意見やご質問はございますか。 〇黒川委員 　全国的に図書館の貸出人数、貸出数が減少傾向にある中で、貸出数は若干の減ですが、貸出人数は増えているということで、良い結果だったと思います。電子図書館が振るわないのは、費用もかかっていることですし、課題だと思います。 〇有永会長 　滞在型・企画参加型の図書館になってきているのだと思います。電子書籍は費用が減ったこともありますが、周知不足かなと思います。

○佐藤委員
　資料１の登録者数ですが、これは新規登録者ということでしょうか。

○柴沼図書館サービス係長
　はい、新規に登録された方の数になります。

○佐藤委員
　ＷＥＢがゼロになっているのは、どういうことでしょうか。

○柴沼図書館サービス係長
　現在、新規登録の手続きは窓口のみで行っているため、ゼロとなっています。

○佐藤委員
　では、窓口で新規登録をすれば、ＷＥＢの利用ができるということですね。

○柴沼図書館サービス係長
　登録後に図書館ホームページでパスワード登録をしていただければ、図書館資料の予約や利用状況の確認などのＷＥＢサービスを利用することができます。

○有永会長
　よろしいでしょうか。それでは、イの令和７年度中間事業報告（４月～１２月末）について、事務局より説明をお願いします。

○柴沼図書館サービス係長
　報告事項２点目のイ「令和７年度中間事業報告（４月～１２月末)」について、ご報告いたします。資料２をご覧ください。
　初めに、「健康づくり課×図書館 特別企画　健康づくり講演会　朝倉かすみ講演会『平場の月』を語る」につきましては、朝霞市が主な舞台となっている小説「平場の月」の映画化を機に、作者の朝倉かすみ氏と司書職員による対談形式で講演会を行いました。なお、作品中で「がん」が大きなポイントとなっていることから、健康づくり課と図書館が協力し、健診や病気の正しい知識、信頼できる情報源等への啓発・周知を図る「健康づくり講演会」として開催しました。
　次の「青少年対象講座」は、青少年に図書館利用のきっかけと、本に親しむ機会を提供することを目的に行っております。１２月７日（日）に「好きを仕事に！動画業界のシゴトをのぞいてみよう」と題し、講師に高岡武生氏をお招きし、ティーンズ世代の関心が高い、動画制作についての講座を開催しました。本年度は、８人の参加がありました。
　次の児童文化講座では、子どもを取り巻く大人を対象に、子どもの成長に読書が果たす役割や、本と出合うことの大切さなどを伝え、子どもの読書活動の推進を図ることを目的に行っております。１１月８日（土）に「紫外線から宇宙まで ～身近な疑問から始める子どもの読書習慣づくり～」と題し、講師に松成紀公子氏をお招きし、紫外線や宇宙をテーマに、子どもの興味の広げ方や読書のきっかけづくりについて学ぶ講座を開催しました。本年度は、１２人の参加がありました。
　次の「プレママ・パパ絵本講座」は、赤ちゃんがお腹にいる時から話しかけ、読み聞かせを行うことで、親子のきずなを深めていくこと、また読み聞かせの楽しさや大切さを、実演を交えながら伝えていくことを目的に開催しており、令和７年度から日数を２回から４回に増やし、開催しました。この講座は、後の「ブックスタート」や「赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム」につながっていくように企画しております。
　次の「ブックスタート」事業は、保健センターで毎月実施される乳幼児の４ヶ月健診時に、メッセージを伝えながら「ブックスタートパック」として、絵本をプレゼントし、絵本を通した親子のふれあいの楽しさ、大切さをお伝えするとともに、図書館をＰＲしております。１２月末ま

でに１８回実施し、８３８組の参加がございました。
　次のページの「赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム」は、ブックスタート後のフォローアップを目的に赤ちゃんが保護者と一緒に読み聞かせやわらべ歌などを体験する事業です。１２月末現在、１６回実施し、８８組延べ１９０人の参加がございました。
　次の「うさみみタイム」は、毎週木曜日、児童・幼児を対象に、職員による絵本の読み聞かせや紙芝居を行っているものです。１２月末現在、３６回実施し、延べ３５３人の参加がございました。
　このほか、４月２３日から５月１２日の子ども読書週間に先立って４月１９日に実施した「子ども読書の日おたのしみおはなし会」に延べ３８人、夏休み期間中の７月２４日の「夏休みおはなし会」には、延べ６２人、１２月２０日の「クリスマスおはなし会」には、７０人の参加がございました。
　次に、映画会でございます。一般向け映画会「シネマライブラリー」は、偶数月の日曜、午後２時から上映し、延べ１３６人の参加がございました。こちらの資料にも記載しておりますが、２月８日の上映につきましては、機材トラブルのため延期とさせていただきました。現在、延期となりました「スタンド・バイ・ミー」につきましては、３月８日（日）に、１回目として午後１時から、２回目として午後３時からの２回の上映を予定しており、広報あさか３月号、図書館ホームページ、図書館内等にポスターの掲示をして、周知をしております。続きまして、４月２３日から５月１２日の子ども読書週間の４月２６日に実施した「映画会」に延べ４４人、夏休み期間中の８月２１日の「夏休みこども映画会」には、延べ３２人の参加がございました。
　次のページ、「図書館まつり」と「らいぶらりコンサート」は、実行委員会が中心となり開催するもので、「図書館まつり」は6月２８日、２９日の２日間で延べ2，１３９人、「らいぶらりコンサート」は5月２５日に開催し、延べ1８１人の参加がございました。
　次に「本の福袋」は、包装してタイトルも内容も分からないようにした本を貸出すことで、楽しみながら読書内容の幅を広げてもらう企画で、１月５日から1月１５日まで実施し、２２４冊の貸出がございました。
　次の「書庫見学ツアー」は、図書館や図書館業務の解説と、書庫の見学をしていただくもので、夏休みの８月２２日に小学生、一般成人向けに2月１０日に実施いたしました。なお、一般成人向けの参加者数につきましては、当日４人の欠席がございましたが、１８人の参加がございました。
　次の「図書館体験プログラム」は、令和６年度までは、「書庫見学ツアー」として中高生を対象に実施しておりましたが、令和７年度については、名称を変更し、同じく中高生を対象に図書館の業務の解説と書庫の見学をしていただくもので、夏休みの８月２２日に実施いたしました。
　次に、「図書館利用者懇談会」は、７月１２日（土）に開催、４人の方の参加がありました。
　次に、「アサカストリートテラス２０２５」の参加事業「森の図書館」は、子どもの読書活動推進と図書館利用の促進を図るため、「アサカストリートテラス２０２５」に出展しました。職員による「おはなし会」のほか、図書館の紹介や簡単な読書案内などを実施し、除籍となった絵本の展示、配布を行いました。
　最後に、「『しいのき×けやきの森』コーナー」は、令和７年度からの新規事業になります。令和７年１１月下旬からティーンズコーナーに常設展示コーナーを設け、約1か月半ごとに、朝霞高校と朝霞西高校の生徒が交互に朝霞市立図書館の蔵書から選書した本のＰＯＰを作成・展示しております。
　以上が、本館の令和７年度の１２月末までの事業報告でございます。

〇五十嵐専門員兼北朝霞分館長
　続きまして、北朝霞分館の事業報告でございます。資料２の３ページをご覧ください。
　まず、「えんじょいきっず」につきましては、小学３年生から６年生の児童に、図書館の仕事を体験することで、本に興味を持ってもらうことを目的に実施しております。
　例年、夏休み期間中に実施しており、令和７年度は、７月３０日（水）、３１日（木）、８月６日（水）、７日（木）の４回実施し、２７人の児童にご参加いただきました。
　次に、大人向け映画会「名画ＴＨＥ分館」につきましては、8月17日（日）に「1O1（ワ

ン・オー・ワン)」を上映し、３０人にご参加いただきました。また、今回の上映作品に関連するテーマとして、「犬」に関する図書を取り上げて、図書館内で展示を行い、資料の利用促進を図りました。
　次に、子ども向け映画会「キッズシネマ」につきましては、１０月１３日（月）体育の日に「１４ひきのおつきみ」「ふしぎ駄菓子屋　銭天堂」「ざんねんないきもの事典」「おしりたんてい　コズミックフロント」の４作品、計６話を上映しました。こちらは１２２人にご参加をいただきました。
　こうした映画の上映を通じて、本を読むきっかけにしていただき、図書館の利用促進につなげるものでございます。
　最後に、「絵本の読み聞かせ」につきましては、毎月第３火曜日に、ボランティアグループの「おはなしの木」の皆さんのご協力により、実施しているものです。４月から１０月は、開始時間を午後３時３０分とし、日の暮れるのが早い１１月から３月は開始時間を午後３時からとしております。１２月までに９回実施し延べ１３０人の方にご参加いただきました。この事業は、原則事前申込制となっておりますが、定員に満たない場合は、当日申し込みでも参加いただいております。
　説明は以上でございます。

〇有永会長
　事務局から説明がありましたが、何かご意見やご質問はございますか。

〇小石川委員
　「本の福袋」について、借りた方の感想などがわかれば教えていただきたいのですが。

〇齊藤館長補佐
　アンケート結果はおおむね好評で、いままで手にしたことのないジャンルの本を読むことができて読書の幅が広がった、といった声をいただいています。例年行っておりますので、この企画を楽しみにしている、という声も増えていますので、引き続き実施してまいりたいと思います。

〇小石川委員
　これには、文学以外の本も含まれているのですか。

〇齊藤館長補佐
　すべての分野の本を含んでいます。

〇小石川委員
　参考にしたいと思います。もうひとつ、青少年対象、中高生対象の事業について、これらの周知はどのような方法で行っていますか。例えば「好きを仕事に！動画業界のシゴトをのぞいてみよう」は参加者８人とのことですが、内容的にはもっと集まってもよさそうな気がします。学校の方で周知が足りなかったのでしょうか。お伺いします。

〇齊藤館長補佐
　市内中学校、近隣の高校・大学、駅、一部書店さんにご協力いただいてポスターの掲出をさせていただいたところですが、世代的に催事への参加というのがなかなか難しいようです。ですが、参加者からはご好評をいただいておりますので、これからも続けてまいりたいと思います。

〇小石川委員
　一昔前と違い、将来の夢を真面目にユーチューバーと考えている生徒もいますから、もっと多くの生徒が興味を持つのではないかと思います。ですから図書館と学校が連携して周知することが生徒たちのためにもなると思います。校長会を利用したり、生徒たちの持つダブレットに動画やインスタグラムでＰＲすることも可能だと思いますし、給食の時間にＰＲを流すことも難しい

ことではないと思います。周知の方法をいろいろとしてみてはどうかな、と思ったところです。

〇有永会長
　ＳＮＳを多用すれば、サービスの向上につながると思います。あと、「『しいのき×けやきの森』コーナー」ですが、見ていると結構借りられていて、やはりああいう形で紹介するのは効果があるのだなと思いました。ぜひ続けていってもらいたいと思います。

〇黒川委員
　「『しいのき×けやきの森』コーナー」のような、職員自身が行っている本の特集展示はリスト化されているのでしょうか。今、会長が言われたように利用者と本を結ぶ大事な接点だと思いますし、ある種、司書の本業だと思います。事業名にはなっていない業務ですが、リスト化して公表した方がよいと思います。

〇齊藤館長補佐
　リスト化はしておりませんが、統計はとっています。話題本コーナーや児童コーナーで行う大きなもので年５回、そのほかに各担当がいろいろな形で特集展示を行っておりますので、今後、公表できるようにしたいと思います。

〇増田図書館長
　特集展示につきましては、今説明させていただいた図書館独自で行っているもののほか、市役所の他の部署と連携して行っているものもあります。今年度は障害者や認知症についての啓発の展示を依頼された際に、関連図書を並べるということもしております。また「平場の月」の講演会につきましても、図書館単体ではあそこまで大きなイベントにはできなかったのではないかと考えています。今後も他部署との連携を強化したいと思います。

〇有永会長
　「平場の月」の展示はかなり大がかりでしたが、どこが作成したのですか。

〇齊藤館長補佐
　展示物に関しましては、担当者を中心にすべて図書館で作成しました。大きなパネルについては映画のロケが行われた精興社さんにご協力を頂きました。

〇有永会長
　よろしいでしょうか。それでは、（２）協議事項に入らせていただきます。ア　令和６年度事業計画（案）について、事務局より説明をお願いします。

〇柴沼図書館サービス係長
　それでは、（２）協議事項のア　令和８年度の図書館事業計画（案）についてご説明いたします。資料３をご覧ください。
　一般成人対象の「一般向け講座」、　青少年対象の「青少年対象講座」を年度内で各１回の実施を予定しています。
　次の児童関係事業は、「児童文化講座」を年１回、「プレママ・パパ読み聞かせ講座」を年間４回、「ブックスタート」事業を毎月２回、年間２４回、「赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム」を月１回、年間１２回、「うさみみタイム」は、読み聞かせを毎週木曜日の午後に実施予定でございます。
　次のページをご覧ください。こどもの読書週間に「おたのしみおはなし会」、「おたのしみ映画会」を各１回、夏休み期間中に「夏休みおはなし会」、「夏休みこども映画会」を各１回、１２月に「クリスマスおはなし会」を予定しています。
　次に、「シネマライブラリー」は、偶数月の第２日曜日に年間６回、「図書館まつり」は、６月２７・２８日の土・日に、「らいぶらりコンサート」は５月２４日の日曜日に開催する予定でござ

います。
　次に、「本の福袋」につきましては、例年通り実施する予定です。
　次に、夏休み期間中に小学生を対象に「書庫見学ツアー」、中・高生を対象に「図書館体験プログラム」を、また、いずれかの休館日に一般成人向け「書庫見学ツアー」を開催する予定です。
　次に、「利用者懇談会」につきましても、例年通り実施する予定です。
　最後に、令和７年度からの新規事業「『しいのき×けやきの森』コーナー」については、令和８年度も引き続き、実施予定でございます。本館の事業計画案は以上でございます。

〇五十嵐専門員兼北朝霞分館長
　続きまして、北朝霞分館の令和７年度事業計画（案）でございます。資料３の３ページをご覧ください。令和８年度は、令和７年度と同様の事業を計画しております。
　「えんじょいきっず」は、７月から８月の夏休み期間中に実施し、１８名の募集を予定しております。
　次に、一般向けの映画会の「名画ＴＨＥ分館」は、８月１６日（日）を予定しております。
　子ども向けの映画会の「キッズシネマ」は、１０月１２日、スポーツの日で祝日となる月曜日の実施を予定しております。
　「絵本の読み聞かせ」は、令和７年度と同様に、毎月第３火曜日に実施を予定しております。なお、令和８年度は会場の都合により開始時間を年間を通じて午後３時からとしております。以上でございます。

〇有永会長
　ただいま事務局から説明がありましたが、何かご意見やご質問はございますか。

〇岡田委員
　スマホやタブレットの普及で、本に接する機会が子どもだけでなく、親の世代も少なくなっています。いわゆる名作は、いつ、誰が読んでも感動すると思います。そんな感動経験の機会を増やすためにも、「プレママ・パパ読み聞かせ講座」を図書館単独ではなく、保健センターや児童館といった他の部署と連携して行うことが必要と思いますがいかがでしょうか。

〇齊藤館長補佐
　「プレママ・パパ読み聞かせ講座」については、妊婦の方を対象に読書経験というよりも子どもとのコミュニケーション・ツールの一つとして絵本が役立つことや、この図書館は０歳児から利用できるということをお知らせするための啓発として行っています。今年度から年４回実施とし、うち１回は北朝霞分館で実施し、今後、定着させていきたいと思います。他の部署との連携についてですが「ブックスタート」を保健センターのご協力を得て実施しています。乳幼児４か月検診と同時に実施していることから、ブックスタート・パックの配布率は９０％以上と他の自治体と比較しても高いものとなっております。今後も他部署との連携を図ってまいります。

〇黒川委員
　まず、図書館利用者懇談会の参加者を増やしていただきたい。２０万人近くの利用者がいて参加者が４人というのは課題だと思います。図書館に少しでも興味のある方が気軽に意見を言える場にしていただけたらと思います。
　あと、朝霞市は本に関係のある企業が多いことを市も一般市民もあまり認識していなかったと思うのですが、一昨年に一進堂さんで実施した「朝霞で生まれ続ける絵本印刷の世界『ねないこだれだ』ができるまで」の展示を機に「朝霞って、有名な本の出版に関係している町なんだ」と、変わり始めたと思います。そこで、出版業や書店など本業界と連携して、本そのものの面白さを伝える企画を、図書館職員が直接行うのではなく、業界の人たちにやってもらえることを企画できれば、本とのより深いかかわり方を発見できるのではないかと思います。
　あと、夏休みに多くの催事を開催されていますが、公共交通機関の時間の関係を考えて開催時間・終了時間の設定をしてくれるとよいと思います。７月から９月くらいは暑いので、配慮をお

願いします。

〇増田図書館長
　公共交通機関の時間につきましては、図書館の前が市内循環バスの停留所になっていることもありますので、今後、考慮してまいります。

〇有永委員
　図書館利用者懇談会ですが、確かに参加者が少ないのでＰＲ方法を一考願いたい。活発な意見交換があってこそ図書館サービスの向上があると思います。調べてみると他の自治体で２０人以上の参加者がある例があり、この場合、図書館の関係団体や学校図書館関係者に声をかけているようです。単に懇談するだけではなく、前半に利用統計の報告や、各種計画などの説明を行うなどの工夫をして、少しづつでも参加者数を増やしていけたらと思うのですが。

〇増田図書館長
　図書館利用者懇談会については、ここ数年、参加者が数人ということもあり、今年度は図書館に関するドキュメンタリー映画「疎開した４０万冊の図書」の上映後に開催してみましたが、それでも参加者が増えませんでした。しかしながら、例年実施している利用者アンケートは大変多くの方からご意見をいただいていますので、図書館についていろいろ考えていただいている市民の方は多いと思うのですが、指定の日時に図書館に赴き意見を言う、というのはハードルが高いのかなと思います。関係団体にお声掛けをしてご意見を頂くのも大切だと思いますが、やはり、一般の方に参加していただけるモチベーション、動機付けをしていきたいと考えております。また、委員の皆様からもよいお知恵を頂ければと思います。

〇黒川委員
　アンケートで意見が出るのは、たぶん意見に対して答えが出るからだと思います。懇談会で出された意見がどのように取り入れられているのか、ということの可視化をしていかないと、参加しても無駄、言うだけで終わり、と思われてしまう。やはり、書くよりも直接意見を言う方が重みがあると思ってもらえることが必要だと思います。ＰＲの方法には工夫の余地があると思いますが、行く意味があると思ってもらえないと参加してもらえないのではないでしょうか。

〇有永委員
　大変だとは思いますが、議事録を作成して公表することも必要だと思います。

〇黒川委員
　会議形式ではどうしても畏まって意見を言いづらいこともあると思うので、ワークショップ形式で行うのもよいと思います。

〇有永委員
　やはりチラシを作成して広く呼びかけ、学校図書館関係者にも来てもらえるようにした方がよいと思います。

〇増田図書館長
　検討してまいります。

〇有永委員
　図書館振興財団が行っている「図書館を使った調べる学習コンクール」というものがあり、これは図書館が小・中・高生などの図書館資料を使った調べ学習の成果を対象に地域コンクールを開催し、そのうちの１．５％を全国コンクールへ出すというもので、昨年は全国で１２万人以上が参加、全国で約１７０、埼玉県内では２０の自治体が参加しています。調べ学習も図書館の大切な機能だと思います。これへの参加はいかがですか。

○齊藤館長補佐
　こちらの体制の問題もありますので、「調べる学習コンクール」に限らず対応できるものから少しずつでも参加したいと考えております。今後の課題とさせていただきたいと思います。

○有永委員
　審査をしなければいけないので大変だとは思いますが、ぜひお願いします。
　ほかによろしいでしょうか。では続きまして協議事項イ　第４次朝霞市立図書館サービス基本計画・子ども読書活動推進計画（案）について事務局より説明をお願いします。

○齊藤館長補佐
　それでは、本日配布させていただきました第４次朝霞市立図書館サービス基本計画・子ども読書活動推進計画（案）と資料編をご覧ください。本日お配りした計画（案）は、先日郵送させていただきました計画に対し、１月１６日から２月１４日まで実施した市民コメント、職員コメントで頂いたご意見を取り入れたものになります。市民コメントのご意見は０件、職員コメントは２名・６件で、ほとんどが表現や誤字・脱字に関することでしたので、これらは取り入れてございます。また朝霞市子ども読書活動推進連絡会からも表現等についてご意見をいただき、こちらにつきましても取り入れさせていただきました。総じて、先に郵送させていただいた計画と大きな変更点はございません。
　続きまして資料編ですが、こちらは計画を策定するにあたり参考とした令和６年度に実施した図書館サービス基本計画に関する来館者アンケートと市政モニターアンケート、今年度実施した子どもモニターアンケート、子ども読書活動推進計画についての就学前児童の保護者、小・中・高生に行ったアンケート、それから、当館の障害者サービスを利用されている方に電話によるヒアリングを行った結果をまとめたものになります。
　以上でございます。

○有永会長
　ただいま事務局から説明がありましたが、何かご意見やご質問はございますか。

○黒川委員
　来館者アンケートで、回答者の居住する地区によって、回答内容に何か特徴はありましたか。

○齊藤館長補佐
　地区別のご意見の分類等は行っておりません。ただ自由記入欄を見ると、「本が古い」といった図書館本館・分館の利用地域でない、公民館図書室の利用地域であることが分かるご意見がありますので、そこは考えさせられるところではあります。

○佐藤委員
　推進計画（案）の１８、１９ページにある「ネットワークを活用した読書活動の推進」で、埼玉県内の高校図書館ネットワークに触れていただき、ありがたく思っています。ネットワークの活用では、本校は今年度の夏以降、ＷＥＢで学校図書館の蔵書検索ができるようにネットワークを構築しました。生徒のＩＤ、パスワードを借りれば、保護者の方も学校図書館の資料を活用できる、ということを始めたところ、保護者の方からのリクエストもありますので、今後も高校生の活動の場の提供とともに、読書活動の推進という形で県立高校を仲間に入れていただければと思います。

○有永会長
　佐藤委員に質問があるのですが、高校図書館の蔵書数はどのくらいあるのですか。

○佐藤委員
　当校は書庫にあるものを含めて４万冊位、フロアに出ているものだけですと３万冊程度と思います。当校は創立５０年弱なのですが、そのくらいの高校は大体３万冊がキャパシティかと思います。朝霞高校さんのような伝統校だともっと多いかもしれません。

○有永会長
　ＷＥＢ検索機能の構築にはどのくらい費用がかかったのですか。

○佐藤委員
　パソコンの更新時期に併せてその機能を導入したもので、おそらく数十万円位かと思います。パソコン本体はもっとかかっていると思います。

○黒川委員
　図書館と地域や子どもとの関わりについて、読書推進だけではなく、調べ学習など学校のカリキュラムに伴う学校支援も必要だと思います。あと、市立小・中学校の学校図書館スタッフへの支援、図書館の所蔵資料との連携というのをどの辺から読み取ればいいのかな、と思っています。
　それから、今回の計画（案）は割と充実した内容に変わったなと思うのですが、随所に「図書のシステムを変えなくてはいけない」といった記述があります。現在のシステムのどの辺に限界があるのか、聞かせていただけますか。

○増田図書館長
　今回の第４次計画は「図書館サービス基本計画」「子ども読書活動推進計画」を一本化するにあたり、どうしても「子ども読書活動推進計画」が薄くなってしまう印象がありましたので「基本方針４　すべての子どもが読書に親しむまちを目指します」を新設したところです。
　学校図書館との連携につきましては、公民館図書室と同様に図書館情報システムの端末を各学校の図書室に配置することがベストなのですが、費用的な面、それから公民館図書室と同じく週に数回の資料の行き来をする物流の確保が必要なことから難しいと考えています。インターネットが使える環境があれば図書館ホームページから蔵書検索は可能ですし、学校の先生はご多忙なので使いづらいとは思うのですが、学校の最寄りの公民館図書室にリクエストいただいた図書館資料をお届けし、それを取りに行っていただくという制度もございます。今後、学校図書館スタッフの方々のご意見を頂きながら、使い勝手の良い制度を作っていきたいと思います。
　あと、図書館情報システムですが、こちらは５年間の長期継続契約になっており、本来は令和８年度中にシステム更新だったのですが、財政査定により契約延長となりました。システムが更新されれば、新たなサービスも実施できます。最近は先んじてシステムを更新した近隣三市が採用したＷＥＢ利用カード、スマホの画面に利用カードのバーコードを表示することでカードそのものを持ち歩かなくても貸出ができるというものですが、現状の朝霞のシステムでは対応できないため、これへの問い合わせが多くあります。コンピュータ・システムに関しましては、各ベンダーの長所・短所を見極めて検討・選定していきたいと思います。

○黒川委員
　５年に一度のシステム更新ということは、この計画期間中に必ず一度、更新があるということですよね。計画書に明記するかは別にして、システム更新でどのような課題を解決したいのか、どんな挑戦ができるのか、整理しておく必要があると思います。もしかしたら、次期システムの契約期間中に各学校図書館にシステム端末を設置する決断をする時が来るかもしれない。その時のためにシステムの拡張性を確保しておく等、人がいないからできません、と言っていたことが、人が付いたけれどシステム的にできません、ということのないようにしてほしいと思います。

○増田図書館長
　システム更新につきましては、今から計画書に明記するのは難しいのですが、こちらの協議会をはじめ、各所にご意見を頂きながら進めたいと考えています。引き続きよろしくお願いします。

○奥山生涯学習部長
　次期コンピュータ・システムにつきましては、現在も図書館内部で検討、課題の整理等進めております。黒川委員からお話のありました学校との連携につきましても、朝霞市子ども読書活動推進連絡会などで、学校図書館の課題に図書館が関わることでどう解決できるかといったところを検討しながら、よりよい、使いやすいシステムを導入していきたいと考えております。

○黒川委員
　第五小学校の校区で言うと、公民館図書室がなく、北朝霞分館は離れているため、学校図書館で用が足りない場合に図書館を頼ることができず、所蔵している資料で対応するしかないという状況です。何か工夫が必要だと切実に思います。これは答えはいりません。

○有永会長
　今回の計画書ですが、随所に用語の注釈をつけてくれていますが、もっと増やしてほしいと思います。それから、９ページ下から２行目「読書に障害のある人」という記述の「障害」の表記はこれでよいのでしょうか。

○齊藤館長補佐
　現在はほとんどの場合でこの表記が使われておりますので、こちらを使用いたしました。

○増田図書館長
　注釈については、文章の間に入れているのですが、これを増やすと全体のページ構成やレイアウトに影響がありますので、追加の注釈につきましては巻末に掲載したいと思います。

○有永会長
　４１ページの「埼玉県市町村図書館活動調査に基づく指標」の①図書購入費、②人口一人当たりの図書購入費について、令和６年度実績と令和１２年度目標が全く同額です。予算のことなので市全体に関わることだとは思いますが、同額とした意図は何でしょうか。

○増田図書館長
　図書購入費につきましては、市の財政上、増額は厳しい状況で、ここ数年現状維持となっております。今は文庫本が一冊１，０００円を超える時代ですし、購入冊数は減っていくと思われますが、図書購入費はなんとか現状を死守したいと思っております。

○黒川委員
　図書購入費については、書庫が増えない以上、買った分だけ廃棄せざるを得ない状況なので現状維持が正解かと思います。新刊を購入しつつ、除籍本を増やさないというバランスが大切だと思います。それよりも職員によるサービスの改善に力を入れるべきで、これまでは開館日数や貸出点数などわかりやすい指標を見ていましたが、これからは質の面を充実していく必要があると考えています。
　余談ですが、今、議会改革の一環として議会図書室について検討しています。議会図書室の本は議会事務局で購入し、５年位で廃棄してしまうのですが、図書館では古い資料も所蔵していますから、将来は議会図書室用の本を図書館で購入して議会図書室に貸出してもらい、議会での使用時期を過ぎたら図書館に戻す、という運用ができないか検討しています。これが決まれば、協力をお願いしたいと思います。個人的には議会図書室を図書館の分室にして、市民、職員、議員が利用できる日野市の市政図書室のようなものにできたら、と考えています。

○大野委員
　１４ページの（２）で「毎日の読み聞かせを実施しました」という記述があるのですが、これは図書館職員が幼稚園・保育園に出向いて実施したのですか。

○齊藤館長補佐
　こちらは、子ども読書活動推進活動として各機関・施設でどういう活動を行ったかという記述ですので、幼稚園・保育園の活動内容になります。

○大野委員
　この読み聞かせに使う本は、図書館から貸出しているのでしょうか。

○齊藤館長補佐
　もともと園で所蔵していた本を利用している場合や、団体貸出で図書館から借りた本を利用されている場合もあると思います。

○黒川委員
　２８ページに「地域・行政資料の収集・保存」とありますが、朝霞市に居住している著述者というのはどのくらい把握されていますか。

○齊藤館長補佐
　どんな方が市内に居住されているかというのは把握が困難で、著書を図書館にご寄贈いただいた場合に知るということが多いです。

○有永会長
　市民が本を出された場合は寄贈して貰うのですか、それとも購入するのですか。

○齊藤館長補佐
　それぞれの状況によります。複数入手できた場合には郷土コーナーだけでなく、一般のコーナーにも配架するなど、より利用していただけるようにしております。

○有永会長
　よろしいでしょうか。特にないようであればイにつきましては、了承したいと思います。
　次に、議題（３）その他について事務局からお願いします。

○齊藤館長補佐
　その他につきましては連絡事項となります。本日ご了承いただきました「第４次朝霞市立図書館サービス基本計画・子ども読書活動推進計画」につきましては、３月の教育委員会定例会に議案として提出し、４月から施行の予定でございます。今後ともよろしくお願いいたします。

○有永会長
　今、思ったのですが「第４次朝霞市立図書館サービス基本計画・子ども読書活動推進計画」というのは長くないですか。短くするとか、通称を付けるのはどうでしょう。

○黒川委員
　短くしたり通称を付けると、文脈を共有していない一般の人には何だかわからなくなってしまうと思います。長いですが、意味をきちっと伝えているので、これでよいと思います。

○有永会長
　ほかに、委員の皆様より何かございますか。
　特にないようでしたら、これで本日提案された事項については、すべて承認することといたし

ます。以上で本日の議事はすべて終了しました。これで議長の任を下させていただきます。

〇早川庶務係長
　会長、ありがとうございました。
　次回、令和８年度第１回朝霞市立図書館協議会の日程につきましては、７月頃を予定しております。日程につきましては、追ってご連絡を差し上げますので、よろしくお願いいたします。
　以上をもちまして、「令和７年度 第４回 朝霞市立図書館協議会」を終了させていただきます。ありがとうございました。